

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	香川県東かがわ市 (東かがわ市農作物被害防止対策協議会)	シカ、イノシシ	◎	—	○	—

事業概要

- ・センサーカメラを導入し、カメラを設置したICTわなと通常のわな間の捕獲効率を比較し、省力化を検証。併せて、設置したわな周辺の生息状況などの確認を行い、より効率的な捕獲を実証
- ・電気柵監視システムを導入し、システム導入をした電気柵と通常の電気柵間の見回り時間、電圧の推移等を比較検証し、省力的な柵管理を実証

【イメージ】

- センサーカメラを活用した捕獲



センサーカメラを設置し、わな周辺を撮影



撮影データを分析し、効率的な捕獲を実証

- 電気柵監視システムの導入

電気柵監視システム

電気柵



電気柵監視システムにより遠隔地で監視や確認



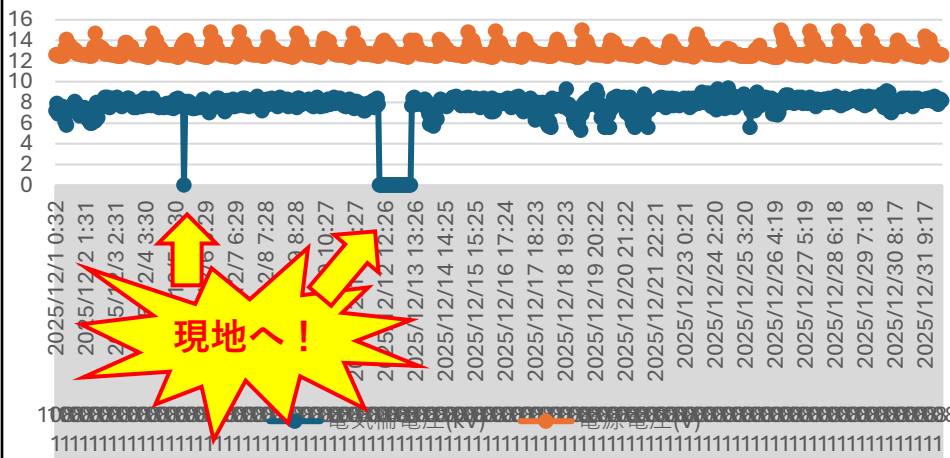
電圧異常の通知により現地確認及び電気柵の原状回復

【データの利用イメージ】

○センサーカメラからの撮影通知により日々監視を行い、捕獲や罠の異常時のみ現地へ赴く。また、写真に写った動物の様子により罠のかけ方や場所の検討も行う。

○電気柵監視システムの日々の電圧通知に基づき、異常時にのみ現地へ赴く。

電気柵監視システムによるひと月の電圧計測状況



R7年度実績		次年度以降実施予定																																										
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> 10月より、センサーカメラを箱わな等の周辺に設置し、周囲の生息状況及び捕獲状況をスマートフォンやパソコン等で把握し、わなの見回りに係る作業時間の短縮等の実証を実施。 笠松地区において、シカ28頭の生息を確認し10頭捕獲、イノシシ12頭の生息を確認し8頭捕獲した（計18頭、うちスマート捕獲で13頭）。この時の慣行とスマート捕獲での見回り負担を比較すると、慣行では月8.2時間の見回りで5頭捕獲したのに対し、センサーカメラを使用した場合は月2時間の見回りで13頭捕獲し、見回り時間は76%短縮された。 電気柵監視システムを10月に導入し、電圧チェックに係る作業時間を慣行の電圧チェック法と比較し、その作業性と導入効果を検証。8か所の見回りに要する時間は慣行見回りで月144分、監視システム使用で月26分程度となり、電気柵の見回り時間は82%短縮された。 実証地区の一部では、夜間に電圧が低下していることが明らかとなり、これを踏まえ電気柵の点検・修繕を行ったところ、日中・夜間の電圧を安定させることができた。夜間の電圧低下は監視システムの導入で初めて明らかとなり、夜間の侵入防止対策を補強できたと思料。また、手動電圧測定と自動電圧測定の値には高い相関が認められ、自動電圧測定法の有効性を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> R7年度の実証は両者とも冬の草葉が少なく見回りがしやすい時期に実施したことから、天候や温度、植生等環境の違いに着目し、通年での検証にも取り組む。 																																										
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>センサーカメラでの捕獲実証</p> <table border="1"> <caption>図1 スマート捕獲の評価</caption> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>ニホンジカ (頭)</th> <th>イノシシ (頭)</th> <th>見回り時間 (h/月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実証</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>慣行</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>8.2</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>電気柵監視システムでの実証</p> <table border="1"> <caption>図2 電気柵別の見回り時間</caption> <thead> <tr> <th>柵別</th> <th>実証 (分/月)</th> <th>慣行 (分/月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>南1</td><td>8</td><td>12</td></tr> <tr><td>南2</td><td>8</td><td>18</td></tr> <tr><td>南3</td><td>8</td><td>22</td></tr> <tr><td>南4</td><td>8</td><td>22</td></tr> <tr><td>南5</td><td>8</td><td>19</td></tr> <tr><td>北1</td><td>8</td><td>19</td></tr> <tr><td>北2</td><td>8</td><td>12</td></tr> <tr><td>北3</td><td>8</td><td>18</td></tr> <tr><td>平均</td><td>8</td><td>18</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	方法	ニホンジカ (頭)	イノシシ (頭)	見回り時間 (h/月)	実証	9	4	2	慣行	1	4	8.2	柵別	実証 (分/月)	慣行 (分/月)	南1	8	12	南2	8	18	南3	8	22	南4	8	22	南5	8	19	北1	8	19	北2	8	12	北3	8	18	平均	8	18	
方法	ニホンジカ (頭)	イノシシ (頭)	見回り時間 (h/月)																																									
実証	9	4	2																																									
慣行	1	4	8.2																																									
柵別	実証 (分/月)	慣行 (分/月)																																										
南1	8	12																																										
南2	8	18																																										
南3	8	22																																										
南4	8	22																																										
南5	8	19																																										
北1	8	19																																										
北2	8	12																																										
北3	8	18																																										
平均	8	18																																										
導入機器 ※交付金活用外の機器を含む	<ul style="list-style-type: none"> センサーカメラWAMキャプチャー04G（ファームエイジ）9台 電気柵監視システム エフモスジュニアVer2.0（協和テクノ）8台 	<ul style="list-style-type: none"> 当初導入機器の継続利用 																																										